

翁長沖縄県知事の新基地建設作業停止指示の

農水相による効力一時停止決定に抗議する

——全国で沖縄連帯行動を広げよう——

2015年3月31日 日本平和委員会

名護市辺野古の新基地建設で林芳正農林水産相は3月30日、翁長雄志知事が防衛省沖縄防衛局に出した工事停止指示の効力を、「裁決があるまで停止する」との決定を行った。私たちは沖縄県民の民意と知事の当然の要求を何重にもふみにじる暴挙につよく抗議する。

翁長知事の要求は、何十トンもの巨大なコンクリートブロックが、辺野古の海の生命力であるサンゴを破壊している事実を踏まえ、岩礁破碎許可の区域外での破碎行為の有無を確認するために、作業の一時停止を求めた当然の指示である。これに対し沖縄防衛局は、同じ政府仲間の農水相に行政不服審査を求め、農水相が効力一時停止を決定したものである。これは強大な権力に対して国民の権利を救済するための行政不服審査法を権力が逆利用したものであり、極めて卑怯な手法である。

農水省が停止決定の理由として、「日米間の信頼関係への悪影響」をあげていることに、その本質がある。この間、政府は、対話を求める翁長知事と一度も話し合うことなく、作業停止要求をことごとく拒否してきた。その一方で頻繁に行ってきたのが、米政府高官や米軍幹部に対する新基地建設推進の誓約である。結局、新基地建設反対の沖縄県民の民意より、日米同盟、アメリカの要求に応えることを何が何でも最優先し、そのためにはどんな手段も選ばない。この異常な日米同盟最優先の姿勢がそこに示されている。

しかし、このような異常で乱暴な対米従属姿勢による無法な基地建設ごり押しは、沖縄県民の人間の尊厳を傷つけ、激しい怒りをいっそう高めざるをえない。それは県民の怒りをさらに爆発させ、翁長知事と団結した県民のたたかいは新たな局面を迎えるだろう。私たちは沖縄県民と固く団結し、全国的な新基地建設反対の世論をつくりだすために、いっそう奮闘する決意を表明する。

◆全国のみなさん、4月15日の沖縄連帯「15日行動」を全国各地でくりひろげ、新基地建設反対の署名を広げましょう。

◆翁長知事への激励はがき、安倍首相への抗議はがき運動を広げましょう。

◆激励・抗議の f a x を集中しましょう。

激励＝翁長雄志沖縄県知事 (fax 098-866-2467)

抗議＝安倍晋三内閣総理大臣 (fax 03-3581-3883) 中谷元防衛大臣 (fax 03-5269-3270) 林芳正農林水産大臣 (f a x 03-3502-8220)